

大学院単位認定

この公開講座・セミナー・シンポジウム等は大学院医学研究科の単位認定対象となっております。単位認定の条件や対象科目等は下記をご確認ください。

単位認定条件

大学院生の方は、受講後、「出席票」を教務課(大学院担当)までご提出ください。
出席票は、履修管理システムからダウンロードすることができます。

【履修管理システム】

博士課程: <http://lms.juntendo.ac.jp/>

修士課程: <http://mst.juntendo.ac.jp/>

認定科目

【博士課程】

Current Topics ※必修「大学院特別講義」に振り替えることはできません。

【修士課程(医科学コース)】

選択科目「大学院セミナー」

ISPACOS 第13回シンポジウム

International Society of Patient-Centered Oncology Science

開催のお知らせ

日時 2024年 **12.1** 日

日本時間 13:00-15:00  zoom

ライブビューイング@順天堂大学10号館1階会議室

タイ時間 11:00-13:00 (現地開催)

@シェラトン グランデ スクンビット ホテル
スクンビットホール (BTS・ASOK駅直結)

「必要な薬が患者に届いていない!？」

欧米などの海外では使用されている治療薬が、日本では利用できない「ドラッグ・ロス」問題。聞いたことはあるけれど、なぜそのようなことが起きているのか知らない人も多いのではないのでしょうか。今回のシンポジウムでは、さまざまな理由で発生するドラッグ・ロスについて、その背景や現状、課題解決のために何ができるかを探ります。タイ・バンコクの会場と東京のライブビューイング会場をむすんで、リアル参加+オンライン配信のハイブリッド形式で行います。

患者、患者家族、医師、看護師、薬剤師、研究者、医療企業など、それぞれの立場から意見交換できる貴重な機会ですので、みなさま是非お気軽にご参加ください!

- WEB開催■
- 参加費無料■
- 事前登録■

プログラム

開会式

11:00~11:15 開会の辞・開会のご挨拶

在タイ日本国大使館 一等書記官 小林 洋介

第1部 基調講演

11:15~11:35 『ドラッグ・ロスとは?』 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 執行役員

佐藤 淳子

11:35~11:45 『臨床試験や治験ってどうやって探すの?』 医師・日本医学会連合 理事

齊藤 光江

11:45~12:00 質疑応答

休憩 (15分)

12:00~12:15 ブレークとタイスイーツのご紹介 (タンチャノック・ナーカゲート)

第2部 討論会『ドラッグ・ロスや臨床試験に関して』

12:15~12:55 タイ会場 司会: 齊藤 光江

日本会場 司会: 宮地 紀彰

ディスカッサント: 高 幸子 (看護師) 高橋 香織 (企業勤務・ソーシャルワーカー)

*WEB参加の方がたも、チャットにてご参加いただけます。

12:55~13:00 閉会式

▼アクセス (日本側ご参加者) ▼



ISPACOS 第13回シンポジウム開催

International Society of Patient-Centered Oncology Science

※敬称略

開会スピーチ ■ 小林 洋介 在タイ日本国大使館 一等書記官



■ 佐藤 淳子 (第1部演者)

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 執行役員 東京慈恵会医科大学にて助手として研究・教育に携わった後、国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター（現医薬品医療機器総合機構）に入職。新薬の審査・安全対策、海外規制当局との国際協力を担当。この間、米国FDA、欧州医薬品庁にも駐在。慶應義塾大学、東京大学国際高等研究所、筑波大学にて客員教授。日本医療薬学会理事ほか



■ 齊藤 光江 (第1部演者、第2部司会)

千葉大学医学部卒後、東大分院外科入局し11年間一般外科の修練を積み、その中で米国MDアンダーソン癌センター細胞生物学研究室留学（2年間）を経て医学博士。癌研病院乳腺外科で7年半医員を務めた後、東大本院臓器病態外科講師、2006年～順天堂大学で乳腺科科長就任、後に乳腺腫瘍学講座主任教授となる。がん支持医療（＝サポーターティブケア：副作用の治療）にも継続的に携わる2013年中央大学社会人大学院で経営学修士取得。現在、日本医学会連合理事、日本専門医機構副理事長、国際がん支持医療学会理事を務める。



■ 高 幸子 (第2部ディスカッサント)

東邦大学医療短期大学看護学部卒後、順天堂医院に入職し、9年間特別病棟勤務後、10年間乳腺外科をはじめ様々な科の混合病棟で勤務していた。2020年より乳腺センター外来主任看護師、日本がんサポーターティブケア学会や日本乳癌学会に所属し、学会発表やISPACOSで真の患者さんに寄り添うことを大切に考え続け、現在は順天堂大学医療看護学研究科で精神看護学CNS(Certified Nurse Specialist)コースを受講し学び中である。



■ 高橋 香織 (第2部ディスカッサント)

米国州立大学生物学科卒後、日本国内の臨床検査会社、大学病院研究室で研究開発の後、製薬会社にてがん関連製剤の学術情報・マーケティング担当、大手医療機器メーカーにて抗がん剤投与デバイス担当、CRO(Contract Research Organization)にてがん関連治験の立ち上げ業務を経験。現在は医療業界経験をもとに医薬品専用ラベル及びラベラー製造販売会社に勤務。福祉系大学に社会人入学卒業。社会福祉士、精神保健福祉士。日本臨床腫瘍学会会員、日本癌治療学会員ほか



■ 宮地 紀彰 (第2部司会)

外資系製薬会社にて抗がん剤領域の営業職約20年、エコシステム開発3年。現在は遺伝子解析パネル検査を事業としている会社に勤務。遺伝性腫瘍の検査に関する課題解決に取り組んでいます。資格：薬剤師

■ 岩本 公子 (第1部司会)

銀行勤務。海外赴任を経て、2000年よりアセアンを地盤に活動。タイ商工会議所保健衛生部委員会

■ 志井 正行 (第1部・第2部司会)

同志社大学法学部政治学科卒業後、株式会社博報堂へ入社。現在は独立し、日タイ間事業に従事。

■ タンチャノック・ナーカゲート (コラム紹介)

チェンマイ大学卒業。現在日本語検定2級を保持。

ISPACOS

タイ支部

運営委員